

各 位

2024年6月12日
株式会社リットーミュージック

人気シリーズ「乙女の本棚」の第39弾が登場！ 大人気の文豪・谷崎潤一郎の傑作小説とイラストレーター・ねこ助とのコラボレーションで『人魚の嘆き』が発売



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）内で文芸・カルチャー関連を扱う出版レーベル立東舎は、『人魚の嘆き』を、2024年6月12日に発売します。

「乙女の本棚」とは、文豪の名作に、現代のイラストレーターが自由な感性でイラストを添える、絵本感覚で楽しめるコラボレーション・シリーズです。第39弾となる『人魚の嘆き』は、『痴人の愛』や『細雪』などで有名な文豪・谷崎潤一郎による、貴公子と人魚の出会いを描いた名作です。また、書籍の装画、ゲーム、CDジャケットなどで美しい人や獣を描き話題沸騰の大人気イラストレーター・ねこ助が、描き下ろしで多くのイラストを制作しています。オールカラーで、小説の世界をより豪華に楽しむことができる作品です。

本文より



■書誌情報

書名：人魚の嘆き

著者：谷崎潤一郎+ねこ助

定価：1,980 円（本体 1,800 円 + 税 10%）

発売日：2024 年 6 月 12 日

発行：立東舎／発売：リットーミュージック

商品情報ページ <https://rittorsha.jp/s/otome/3124317404.html>

PROFILE

谷崎潤一郎

明治 19 年（1886 年）東京生まれ。東京帝国大学国文科中退。在学中に同人雑誌「新思潮」（第二次）を創刊し、「刺青」などを発表する。代表作に、『痴人の愛』『春琴抄』『細雪』『陰翳礼讃』などがある。「乙女の本棚」シリーズでは本作のほかに、『二人の稚児』、『刺青』（どちらも谷崎潤一郎+夜汽車）、『魔術師』（谷崎潤一郎+しきみ）、『秘密』（谷崎潤一郎+マツオヒロミ）がある。

ねこ助

鳥取県出身のイラストレーター。書籍の装画、ゲーム、CD ジャケットなどのイラストを手がける。著書に『ルルとミミ』（夢野久作+ねこ助）、『鼠』（堀辰雄+ねこ助）、『魚服記』（太

宰治+ねこ助)、『山月記』(中島敦+ねこ助)、『赤とんぼ』(新美南吉+ねこ助)、『Soirée
ねこ助作品集 ソワレ』がある。

【立東舎】<https://rittorsha.jp/>

立東舎は文芸、マンガほか、さまざまな分野のポップカルチャーを紹介する出版活動を展開中。

「乙女の本棚」などの好評シリーズのほか、手塚治虫、谷ゆき子らの幻のマンガの復刻などで感度の高い読者の話題を集めている出版ブランドです。

【株式会社リットーミュージック】<https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】<https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp